



「さわやか」 創立十周年記念式典・祝賀会 盛会裏に終わる！ 総勢九四名

平成十八年十二月三日(日)十時

から、北九州八幡ロイヤルホテルで、特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」創立十周年記念式典・祝賀会が開催されました。参加者は、議員、行政、透析医会など、来賓が二六名。各県腎協など、関係団体二名。ボランティアさん三六名。事務局十名。合計九四名が列席しました。

式典は、山田浩美理事長の開会の挨拶で幕をあげました。

山田理事長は「さわやか」の過去を

振り返り、今後も走りながら考えるをモットーに頑張ると訴えました。

来賓の挨拶は、

北九州市議会議員、長崎県議会議員、北九州市保健福祉局、済生会八幡総合病院長、小倉第一病院長代理の五名から、心温まる祝辞を頂きました。

来賓・ボランティア94名が列席



感謝状は、十年の長きにわたり「さわやか」に事務所を貸与していただいている、済生会八幡総合病院院長と小倉第一病院中村院長に渡されました。次に祝電・メッセージの紹介がありました。(詳細は別紙「メッセージ集」で紹介)

記念式典のメイン行事の記念講演が、全腎協金子智常務理事によって、行なわれました。(詳細は別紙で紹介) 金子常務理事には、

① 透析患者の現状
 ② 全腎協の通院送迎事業への取り組み
 ③ 「さわやか」の功績
 ④ 全腎協の運動の課題とこれからの通院送迎事業への取り組み

の四項目にわたり講演をして頂きました。

特に、今後大きな問題になるであろう、後期高齢者医療について、全腎協の立場を明確にされ、運動の方向を示されました。

式典に引き続き、祝賀会へと移りました。岡副理事長の歓迎の挨拶のあと、四名の来賓の方から、挨拶をうけました。加筆理事が乾杯の音頭をとり、祝賀会は始まりました。

最初に、鹿野流太・津軽三味線による、津軽三味線の演奏がありました。その後は、懇談会に移りテーブルのあちらこちらで、話の花が咲いていました。

式典・祝賀会は、山田理事長の閉会の挨拶を受け、とどこころなく、幕を閉じました。

「列席の皆様、大変有難う御座いました。」



理事長
 山田浩美

皆様、おはよう御座います。本日は、「さわやか」創立十周年記念式典及び祝賀会に、この様に沢山、ご列席いただき、主催者を代表して、厚くお礼申し上げます。透析患者と難病患者の通院送迎を始めて、早いもので十周年を迎えることができました。これも偏に、今日ご列席の皆様、多くのご支援、ご協力いただいた皆様のおかげによるものです。

開会の挨拶

十年間の感謝と決意をこめて

時点を考えて、さらに前進することをモットーにしてきました。「さわやか」の十年は、平穩無事ではありませんでした。今日お配りした、「十周年記念誌」に、多くの蹟きを掲載しています。お帰りになって、ゆっくりご覧になっていただければ幸いです。

さて、今日は、私たちの中央組織・社団法人・全国腎臓病協議会から、金子智常務理事をお迎えし



お客様も受付も晴々と

改めて心より感謝申し上げます。有難う御座います。「さわやか」は、「走りながら考える」をモットーに、十年間走りつてきました。現在のような競争社会では、「自分は能力がない」と言っている暇はありません。能力があるが、なかるうが、立ち止まれば落語するのです。禪の言葉に「悩めば心を失う、悩まなければ心を得る」とあります。過去を悩んでも何にもならない。悩まず前進すれば、目標に到達出来る、と言う意味でしょうか。「さわやか」は、絶えず前向きに走りながら、障害ができれば、その

「さわやか」は、今後、「走りながら考える」をモットーに、走り続ける所存です。皆様のご指導、ご鞭撻、宜しく願います。以上をもちまして、理事長挨拶を終わります。ご清聴有難うございました。

「全腎協の通院送迎事業への取り組み」という演題で、通院送迎の意義、全国的な活動状況、その中で「さわやか」の位置付けなど、全国レベルでの評価を講演していただきます。五周年の時は、若干お祭り気分の式典でしたが、今回は、「通院介護事業」を正面に据えて、講演をいただくことになっています。皆様のご清聴を宜しく願います。祝賀会では、皆様にご懇談の時間を取って

年末年始のお知らせ



12月29日~1月4日まで
 事務局はお休みです。

(原文を掲載)

鹿野流太棹津軽三味線



師範 鹿野勝雅 先生 (中央)

総勢九名による
迫力ある演奏



全腎協
金子智常務理事

通院送迎事業について
全国的状況を講演



これから送迎事業も厳しい世情ではありますが、初心を忘れることなく助け合う心と感謝の気持ちを大切に活躍されることを期待しております。十年間頑張ってきた「さわやか」の皆様にご挨拶した一日でした。

十年と一言で言いますが、平坦な道ばかりではなかったことでしょう。事務局とボランティアさんが想い一つにして頑張ってきた賜物だと、我がことのように嬉しく胸が熱くなりました。

記念式典・祝賀会ともスムーズに運営され、また、創立からのビデオ放映もされるなど、準備にご苦労されたと存じますが、事務局の周到な準備に感謝しました。

通院介護センター「さわやか」創立十周年記念式典・祝賀会が十二月三日八幡ロイヤルホテルに於いて盛大に挙行されました。この栄えある式典に私共ご招待いただき、山田理事長始め、スタッフの皆様のお温まるおもてなしに感激いたしました。

副理事長 落合律子

初心と感謝の気持ちで
活躍に期待!

「さわやか」十周年記念式典・祝賀会の日

「さわやか」十周年には、多くの方々のご協力により無事終わることができました。式典・祝賀会の模様と感想のお手紙をご紹介します。



祝賀会では、十年間の歩みをビデオでみて江頭前理事長をはじめ、皆様のご苦労がよく解りました。また、アトラクションの津軽三味線の力強い演奏を楽しみました。これからも、心身の健全に励み、安全と安心を心がけた活動を継続しようと思えました。ありがとうございます。

来賓祝辞や記念講演で「さわやか」の活動が、全国の先駆けとして指導的な役割を担っている事が高く評価されていることを知りました。その活動の仲間として活動していることを誇りに思います。

式典では、山田理事長の挨拶で「さわやか」十周年の歴史、道路運送法・障害者自立支援法・医療制度・診療報酬など乗り越えなければならぬ困難と問題を「走りながら考える」をモットーに、力強く切り開いて前進する決意が述べられました。

十二月三日、八幡ロイヤルホテルで開かれた「さわやか」創立十周年記念行事に参列させていただきました。

八幡事業所ボランティア
吉原博通

「さわやか」創立十周年
記念式典・祝賀会に参列して



式典・祝賀会を終えて・・・
今日は、本当にありがとうございました



山田理事長と岡・梶原両副理事長
各テーブルに挨拶